

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年2月2日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(11月)
乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を下回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回った。(12月)

産業面・・・鉱工業は、弱い動きとなっている。

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(11月)

雇用面・・・有効求人倍率は、厳しい状況が続いている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(11月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(12月)

需要面の動き

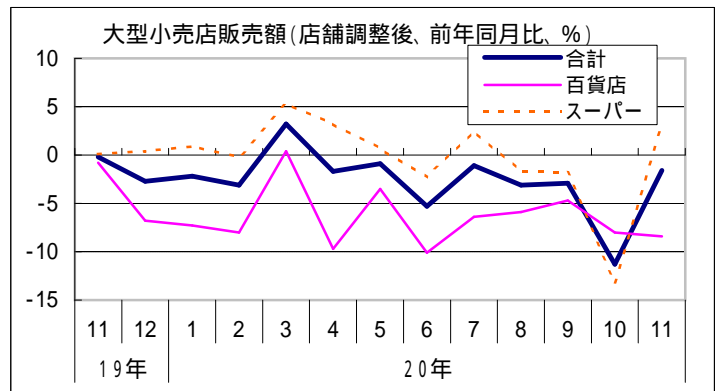
大型小売店販売額(11月)

全店舗の販売額は、55億2,758万円(前年同月比1.6%減)と8か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも8か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	552,758	1.6 (1.6)
百貨店	211,811	8.4 (8.4)
スーパー	340,947	3.1 (3.1)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(11月)

34億31万円(前年同月比5.2%減)と2か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(12月)

1,265台(前年同月比11.9%減)と5か月続いて前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車とも前年を下回った。

新設住宅着工戸数(12月)

343戸(前年同月比25.2%増)と3か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、分譲住宅の増加(前年同月比828.6%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(12月)

26億6,142万円(前年同月比198.9%増)と2か月続いて前年を上回った。用途別では、宿泊業、飲食サービス業用(前年同月比4,288.5%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(12月)

42億7,600万円(前年同月比13.1%減)と2か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、市町村の減(前年同月比54.8%減)が大きな割合を占めた。

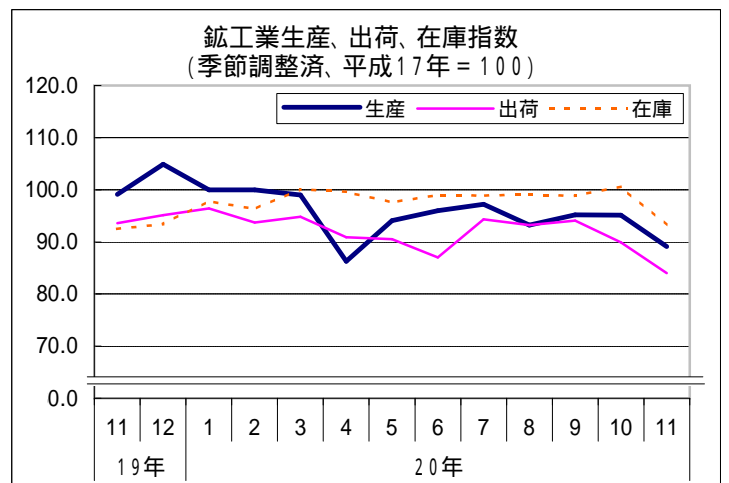
産業面の動き

鉱工業指数(11月)

生産指数(季節調整済)は89.1(前月比6.3%低下)と2か月続いて低下し、原指数は90.4(前年同月比16.2%低下)と2か月続いて低下した。

内訳を前月比でみると、食料品・たばこが2.5%上昇、電子部品・デバイスが15.7%低下、電気機械が10.4%低下、一般機械が19.9%低下した。

在庫指数(季節調整済)は93.2と前月比7.4%低下した。



大口需要電力実績(11月)

113,509千kwh(前年同月比17.5%減)と4か月続いて前年を下回り、鉱工業も全ての区分で減少し18.8%減少した。

青果物卸売量(12月、鳥取市場)

野菜が1,420t(前年同月比4.2%減)と2か月続いて前年を下回り、果実も1,164t(前年同月比8.6%減)と4か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(12月、境港)

12,608t(前年同月比13.4%増)と7か月ぶりに前年を上回った。

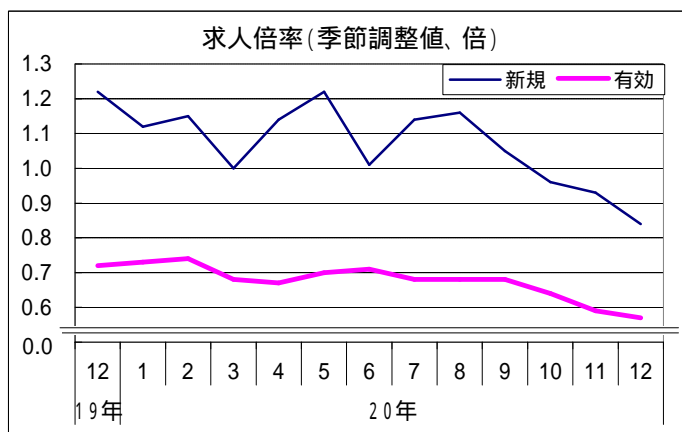
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(12月)

0.84倍(前月差0.09ポイント低下、前年同月差0.38ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、2,877人(前年同月比8.4%減)と15か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(12月)

0.57倍(前月差0.02ポイント低下、前年同月差0.15ポイント低下)と2か月続いて0.6倍を割っている。また、0.5倍台が続くのは、平成14年3月(4か月連続)以来である。



現金給与総額(11月)

262,484円(前年同月比1.5%減)と4か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,186円(前年同月比1.0%減)で4か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(11月)

9.0時間(前年同月比5.3%減)と4か月続いて前年を下回った。主力の製造業は15.3%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比43.4%増)等で前年を上回り、卸売・小売業(前年同月比27.0%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(11月末)

預金残高は、1兆8,714億円(前年同月比0.4%増)と3か月ぶりに前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,152億円(前年同月比1.9%減)と27か月続いて前年を下回った。

参考

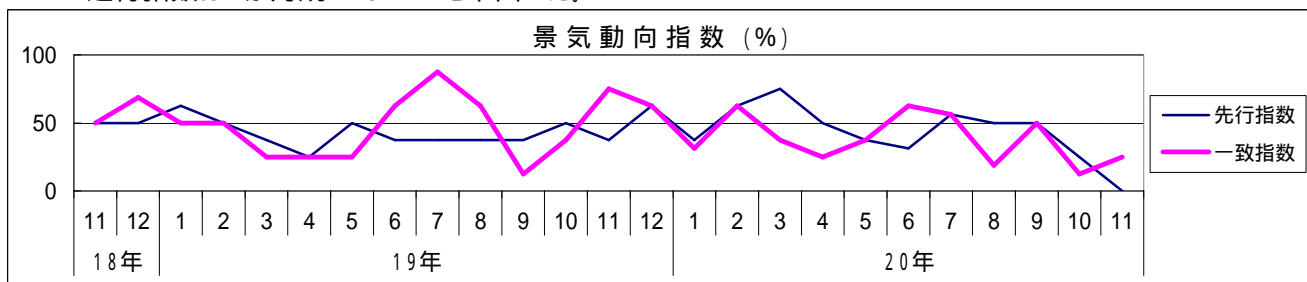
鳥取県景気動向指数(11月)

先行指数0.0%、一致指数25.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%を下回った。

一致指数は2か月続いて50%を下回った。

遅行指数は4か月続いて50%を下回った。



企業倒産(12月)

件数は8件(前年同月比166.7%増)で2か月続いて前年を上回り、負債総額は9億2,200万円(前年同月比73.5%減)で2か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(12月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.9となり、前月比(0.5%下落)は4か月続いて下落し、前年同月比(0.5%上昇)は14か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(1月1日現在)

594,437人で、前月と比べて224人(0.04%)減少し、前年同月と比べて4,937人(0.82%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年11月調査)

平成20年10~12月期は、平成20年7~9月期に比べると景気はきわめて不調で、売上高はやや不調、経常利益は不調である。

平成21年1~3月期は、平成20年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調となる見通しとなっている。